

市議会12月定例会を開催

いわき市議会十二月定例会が、十二月三日から十七日までの十五日間の会期で開催されました。議会では「いわき市下水道事業等の設置等に関する条例」の制定のほか、一般・特別・企業会計を合わせて、総額三十三億六十八万六千円に上る補正予算などが審議され、四十五議案が可決・同意されました。

市長からの行政報告

清水市長は、本年十月一日に市制施行五十周年を迎えるに当たり、本市の魅力を確認し、本市を愛する心をさらに高める機会とす



るとともに、市民の皆さんをはじめ、さまざまな主体が一つとなり、さらなる発展に向け躍動する契機とするために「市制施行五十周年記念事業」を実施すると述べました。

記念事業は、中核として位置付ける「いわきサンシャイン博」をはじめ「五十周年、五十の記念事業」と銘打って、年間を通じて展開する方針としています。

また、十月八日に皇太子ご夫妻が、東日本震災の復興状況視察のため、本市を訪問されたことや、十月二十三日に皇居で行われた新嘗祭献穀献納式において、いわき産米を献納し、天皇皇后両陛下から震災の被害を心配される暖かいお言葉をいただいたことを報



新病院のイメージ図

告しました。

さらに「新病院建設事業」について、高度・先進医療を担う地域の中核病院を目指して検討を重ね、建築実施設計を取りまとめたことなどの報告を行いました。

主な議案

○いわき市下水道事業等の設置等に関する条例の制定について

経営基盤を強化し、将来にわたり、持続可能な生活排水対策の構築を図るため、本年四月から、下水道事業等に対し地方公営企業法の財務規則などを適用し、企業会計に移行することから、本条例を制定しました。

○いわき市部設置条例の改正について

市復興事業計画に掲げる復興期を平成二十七年までとしていることを踏まえ、復興の先を見据えて、平成二十八年度に全庁を対象とした組織改正を実施するため、所要の改正を行いました。

主な補正予算

- ▶北部清掃センター長寿命化事業費＝13億6,754万円
- ▶鹿島公民館交流施設整備事業費＝1億1,662万1千円
- ▶本庁舎等耐震化改修事業費＝8,740万円
- ▶私立幼稚園施設型給付費（子ども・子育て支援新制度分）＝3,836万9千円
- ▶コミュニティ交流広場整備事業費＝3,516万7千円
- ▶競輪事業特別会計＝14億5,491万5千円



本庁舎などの耐震化改修に向け基本設計を実施

避難者の皆さんとの共生に向けて

市は、福島第一原発事故に伴い、双葉郡などから避難されている皆さんが安心して生活できるよう、また、市民の皆さんとの交流が図られ共生していけるよう、双葉郡8町村との定期的な意見交換の場を設け、国や県に対して合同で要望などを行っています。今月号では、これまで要望を行ってきた案件のうち、実現可能となった3事業の概要についてお知らせします。

コミュニティ交流広場整備事業

市民と避難者の皆さんが、日常的に交流するために必要な施設として、パークゴルフ場などの整備を行います。同事業は、福島再生加速化交付金（長期避難者生活拠点形成）および生活拠点における交流促進事業費県補助金を活用して整備します。

- ▶所在地 鮫川河川敷公園（植田町・鮫川下流域）
- ▶整備概要 パークゴルフ場1コースの増設、多目的広場・駐車場の整備など
- ▶供用開始 平成29年4月予定



鮫川河川敷公園でパークゴルフをしながら交流を深める市民と避難者の皆さん

鹿島公民館交流施設整備事業

市民と避難者の皆さんが、日常的に交流するために必要な施設として、小体育館（講堂）の整備を行います。同事業は、生活拠点における交流促進事業費県補助金を活用して整備します。

- ▶所在地 鹿島公民館（鹿島町走熊字鬼越83-1）
- ▶整備概要 同公民館敷地内の多目的スペースを活用し、鉄骨造平屋建て、面積約240平方メートルの小体育館（講堂）の増設
- ▶供用開始 平成29年4月予定



鹿島公民館敷地内に小体育館（講堂）を整備

北部清掃センター長寿命化事業

使用開始から35年が経過し、著しい老朽化のため、廃止予定としていた北部清掃センターについて、避難者の受け入れなどにより、焼却ゴミの発生量が減少しないことから、継続使用するための設備改良工事を行います。同事業は、循環型社会形成推進交付金および福島再生加速化交付金（長期避難者生活拠点形成）を活用して整備します。

- ▶所在地 北部清掃センター（平上片寄字大平23）
- ▶事業期間 平成28年1月～平成31年3月



長寿命化のための設備改良工事を行う北部清掃センター